

DBWorker Process がアクセスする 2 つの外部データベースにログイン クレデンシャルをセットアップする方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[ログイン クレデンシャルの設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境で DBWorker プロセスによってアクセスされる 2 つの外部データベースのログイン クレデンシャルの設定方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- Cisco ICM
- Microsoft SQL データベース

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 5
- Microsoft SQL Server 2000 Standard または Enterprise Edition (サービスパック 2)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

Cisco CallRouter で実行される DBWorker プロセスが、ログインとホスト データベースのルックアップを実行します。これは、外部データベースにクエリしてコールがルーティングされるときにそのデータを使用するプロセスです。Cisco ICM バージョン 4.5.x 以前では、複数のデータベースのログイン クレデンシャルを設定するため、rtsetting.exe を実行します。Cisco ICM バージョン 4.6 により、rtsetting.exe はサポートされなくなりました。外部データベースのログイン クレデンシャルを設定するには、regedit または regedt32 を実行する必要があります。

ログイン クレデンシャルの設定

DBWorker プロセスが外部データベースにアクセスするには、SQLLogin レジストリ キーにサーバ名、外部データベース名、ドメイン、ユーザ、およびパスワードを入力する必要があります。DBWorker プロセスが外部データベースへのリモート接続を試みると、システムが SQLLogin でログイン クレデンシャルを確認します ([こちら](#)に示すとおり)。

バージョン 5.x 以降 :

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\ICM\<cust_inst>\  
router_inst\Router\CurrentVersion\Configuration\Database
```

5.0 より前のバージョン :

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Geotel\ICR\<cust_inst>\<router_inst>\Router\  
CurrentVersion\Configuration\Database
```

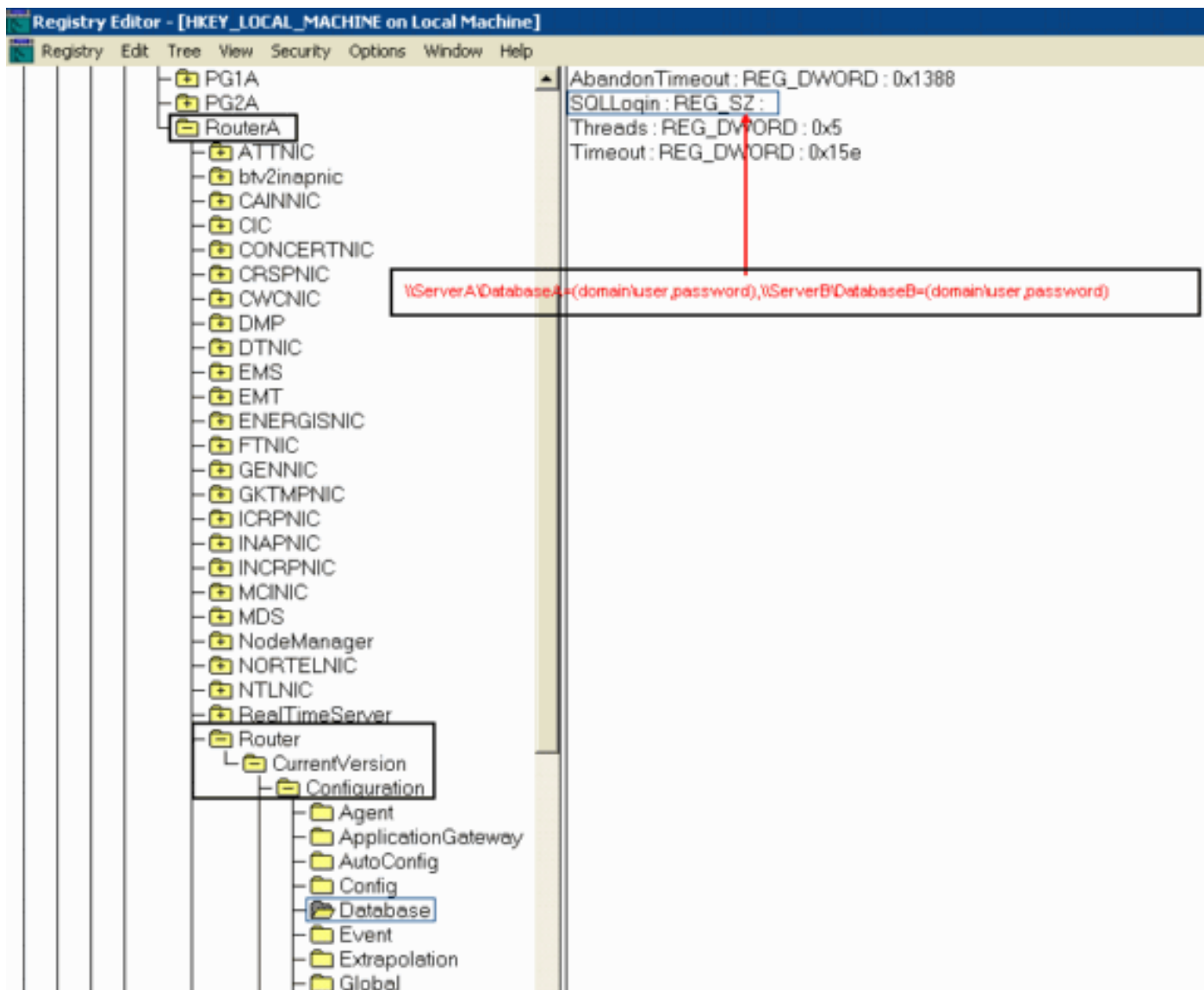
注: 前述のレジストリ キーはスペースの制約上、2 行で表示されています。

コンマをデリミタとして使用し、異なるデータベースのデータ間を区切ります。次の例は、2 つの外部データベースのログイン クレデンシャルを示します。

```
"SQLLogin"="\ServerA\DatabaseA=(domain\user,password),\  
ServerB\DatabaseB=(domain\user,password)"
```

注: 上記の例はスペースの制約上、2 行で表示されています。

- **ServerA** は最初の SQL サーバの名前です。
- **DatabaseA** は最初の SQL サーバのデータベースの名前です。
- **ServerB** は 2 番目の SQL サーバの名前です。
- **DatabaseB** は 2 番目の SQL サーバのデータベースの名前です。
- **domain\user**、**password** はログイン クレデンシャルです。



値を設定したら、次の手順を実行します。

1. DBWorker プロセスを閉じます (自動的に再開されます)。
2. 接続が確立されたことを確認します。

関連情報

- [DBWorker によるアクセスが可能になるように外部データベースをセットアップする方法](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)